

目次

新県計画シリーズ (5)

□ 流通体系の整備と貿易の振興

- ★流通機能の整備……………12
- ★商業構造の高度化……………14
- ★貿易の振興……………15

□ 国民的観光レクリエーション地帯の形成

- ★観光開発の基本方向……………26
- ★高原観光地帯……………28
- ★海洋観光地帯……………29
- ★森林観光地帯……………29

□ 水資源の開発と国土保全

- ★水資源の開発……………30
- ★国土保全と防災……………32

ここに人あり

- 人吉羽子板をつくる・池口正樹さん……………25

□ 県政なんでも相談室

- 母子通園センターについて……………33

★ 新春随想

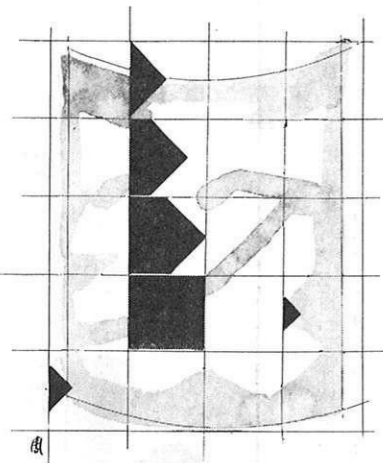
松本雅明 ・ 緒方明子 ・ 高田素次  
大塚正文 ・ 正木三郎 ・ 朽葉繁子

- 欧米における地域開発の印象……………34

★ グラビヤページ ★

若者のいる風景、ほか

- ★ センターカラー……………朝の牛深港
- ★ 表紙……………人古城趾遠望



カット・藤 周平 (二科会会員)



▲クラブ祭りのゲームをリードする佐村さん。



▲勇気ある発言…それが4Hクラブのモットー。



▶実績発表会で元気の発表を…。

若者の環の中で

★上益城郡甲佐町

佐村はるみさん (二〇)

「しあわせなら手をたたこう ポンポン」

若いうたごえといっしょに、元気な手拍子が公民館の窓からきこえてくる。上益城地区4Hクラブ祭りが開かれて、調子もだんだん熱気を帯びてくる。佐村さんの体がこまめにグループ員の間を泳いでいる。

熊本県で4Hクラブが初めて結成されたのは昭和二十四年というから、クラブもことしで二十一歳の若者というわけ。昨年の四月、クラブの技術向上をはかるために、4Hクラブ県連に新たに女子部が発足した。佐村さんはこの初代部長だ。

佐村さんは、甲佐高校時代はテニス部員をして活躍していたが、病氣入院などの事情で中退。みかん園(カキ)の水田五十七の経営者として再出発した。

ところで、女子部での彼女の活躍だが、研究テーマである衣食住を中心とした生活改善に目下取り組んでいる。「これまでの女性性は、男性追従主義であったように思う。新しい時代にふさわしい、発言力・行動力に満ちた若者の生き方をお互いにもつと話し合い、活動して行きたい」頬を紅潮させながら語る彼女の周辺に、いつの間にかグループ員が集まって和やかな人垣が出来た。